



# 歴史ロマン古道ニュース

【発行】歴史古街道団  
ホームページ <http://rekkodan.a.la9.jp/>

団長：宮田太郎 TEL.090-7002-3431  
本部：東京都多摩市桜ヶ丘

秋はシリーズ完結  
“徳川家康の御成道”  
⑤&⑥(相模川まであと2回)  
おひつぎ &  
家康の枢街道・  
復活プロジェクト

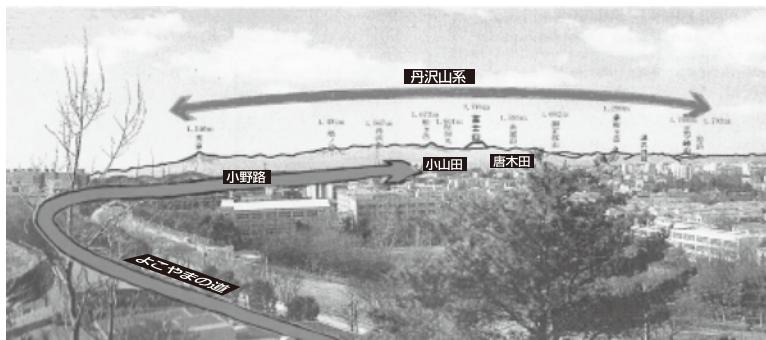
冬は新シリーズ  
～甲州と多摩・武蔵野を  
結んだ縄文ロード～  
古代街道  
“よこやまの道”  
の延長ルート探索  
を開始します！

■2016年の秋～冬は、いよいよ家康の道の痕跡を追って西に向かう探索ウォーク・シリーズの完結編(相模川に面した座間まで)が行われます。

家康の道とは、家康の遺言通り、静岡県の久能山から日光東照宮へ御尊靈(柩)を搬送した千人行列の道です。御尊櫃御成道(ごそんひつおなりみち)と呼ばれ、お枢街道(おひつぎかいどう)とも呼ばれます。

また、多摩市内や町田市内に今もひっそりと遺る、その古道痕跡を誰もが見学できるように、アプローチ歩道を造ろう!! というプロジェクトも並行して開始します。名付けて『家康のお枢街道・復活プロジェクト(仮称)』。このプロジェクトもイベントは参加自由です、特にご協力頂ける方は、ぜひ運営委員までお声を掛けてください。お待ちしています。

■11月からは新シリーズ『古代街道“よこやまの道”延長ルート探索シリーズ』が開始されます。



関東山地へと延びる「多摩よこやまの道」  
(諏訪団地付近の尾根から西方を見る)

“多摩よこやまの道”的尾根では、多くの重要な古街道が南北方向に乗り越えており、かつそれらの痕跡が町田市側の山林内に奇跡的に良く遺っていることは様々な歴史文化遺産が失われていく昨今において特筆すべきことです。さらに東西に延びる尾根上にある古道も、多くの箇所がニュータウン開発で消えたものの、今も途切れつつ確認されます。

大切なことは、このよこやまの道がある尾根は、分水界(多摩川水系と境川水系、鶴見川水系と多摩川水系)にも

あたり、かつて古代人が関東山地の諏訪・八ヶ岳・甲州方面から武蔵野や東京湾に出る際には大変わかり易い目印になり、また自分の位置を確認しつつ進める最短・最良のルートであると認識されたはずと考えられます。つまり何千年もの間、この古街道ル

ートは、様々な利用者が後継の子孫に口伝えしながら、頻繁に使われてきたことになります。

冬からの新シリーズは、この尾根を利用した古道がどこまで続くのかを西方に探っていきたいと思います。

## ガイドリーダーによる様々なウォークや学習会が開催されます!!

「分科会“高尾歩きの会”～狭間から長房～」「府中・国分寺詣で～薬師如来御開帳～」「日帰りバスツアー・晚秋の上毛野～日本のポンペイ、名胡桃城」「稲城矢野口の歴史散策」「畠山重忠終焉の地と鎌倉古道(中の道)」「大田川源流を訪ねる～大栗川支流～」「鈴木遺跡(小平市)と野川・国分寺崖線」「よこやまの道(月例)」など。

また継続学習会「吾妻鏡・勉強会」「古代史 弥生時代」などが開催されます。

みなさま奮ってのご参加をお待ちしています。  
(本文4P以降に掲載。)



# 宮田太郎団長と行く歴史ロマン探索ウォーク

申し込み不要 当日現地にて受付 参加費：団員 700円 一般 1,000円 団員ご家族は2人で1,000円  
昼食：自由昼食（飲食店でも弁当持参でも可）水筒（飲料）・雨具等のオーキング・グッズは各自でご持参下さい  
雨天でも実施（大雨や大風などのよほど荒天時のみ中止（当日朝6:30までに催行可否を決定します）

宮田 携帯 090-7002-3431 \*詳細は歴史古街道団HP参照

晴れても、にわか雨・通り雨  
対策として雨具は必需品

## 徳川家康の御成道 ⑤

### 境川を渡る古道と麻溝台の一里塚

■日帰り探索ウォーク

2016年 9月25日（日）

【内容】古淵周辺は正に古街道が集まる場所。家康の御成道は大山道、矢倉沢古往還、行者道とも言われましたが、他にも古代東海道（防人の道）や境川右岸の鎌倉道、宙水周回古道（仮称）などの古街道もこのエリアを通過しています。今回は境川

渡河点の鹿島神社付近から、南北朝時代の淵辺義博伝説地、大型スーパーの敷地内の中下に埋まっている家康の道や麻溝台の一里塚までを探っていきます。林内に残る大型（道幅10m?以上）の古街道痕跡は圧巻です。

【コース】JR横浜線「古淵駅」改札口前に午前10時集合～境川右岸の鎌倉道～推定・古代東海道～鹿島神社と大日堂～境橋と龍像寺坂～龍像淵と龍像寺～鎌倉道～家康の御成道（大山道、矢倉沢古往還）～昼食（イーオンやイトーヨーカドーなどで自由昼食）～大野台中学校前の行者道（御成道）～木もれびの道と謎の宙水周回古道～麻溝台の一里塚跡と近代測量発祥の地「相模野基線北端点」。15時45分頃解散予定。行程約6km。（最寄りのバス停からJR相模原駅行き、小田急線・相模大野行きほか。）

## 徳川家康の御成道 ⑥ ~シリーズ最終回~

### 絶景の相模川“八景の棚”と新戸の一里塚

■日帰り探索ウォーク

2016年 10月4日（火）

【内容】家康の道を探る最終回は、相模川の渡河点まで向かいます。絶景の地“八景の棚”から丹沢に沈む夕日の美しさが有名。三段の滝は、何万年もかけて相模川が削り造った河岸段丘から湧く鳩川や道保川が造った景勝地。

家康の御尊樞（柩）を運ぶ1,300人の行列が渡ったとみられる新戸の渡し場や一里塚を探し、縄文時代中期の代表的な指標遺跡である勝坂遺跡も探索します。当時の風景が見えてくるかのような雄大な景色です。

【コース】JR相模線「下溝駅」改札口前に午前10時集合（※JR横浜線「橋本駅」から茅ヶ崎行きの相模線に乗って6番目の駅）～相模川“八景の棚”～三段の滝～磯部の土壠～民俗資料館～磯部八幡宮～勝坂遺跡公園（各自弁当昼食）～有鹿様の泉～石楯尾神社～勝坂集落と中村家～新戸の一里塚～陣屋小路～白山姫神社～鳩川と宗仲寺。15時45分頃解散予定。行程約6km。（徒步でJR相模線「相武台下駅」または路線バスで小田急線「座間駅」または「相武台駅」などへ。）

おひつぎ

### “家康のお樫街道”復活プロジェクト

多摩市一本杉公園内に奇跡的に遺る「家康の御成道（御尊樞御成道）=お樫街道」の痕跡を実際に歩いて見学できるようにするためのプロジェクトを開始致します。詳しくは別紙ご案内チラシで遂次お知らせしていきます。特にプロジェクトメンバーになって下さる方は運営委員までお知らせください。

### この冬からの新企画

## 《よこやまの道延長ルート探索のポイント》

——尾根の上にある多摩よこやまの道の延長を辿ると、いったいどこまで古道は続くのでしょうか。実は、富士山を囲む富士五湖に面した外周山「甲州・御坂山地」や「ハケ岳山麓」まで続いている?!——というロマンがあります。

後の古代末～中世には甲州・御坂山系にある十二ヶ岳の修験者が町田市の大戸・相原辺りまでやってきていたというロマンはずっと長い間の研究テーマ（宮田個人の）です。

はるか縄文時代には、ハケ岳高原山麓の尖石遺跡や金生遺跡、井戸戸戸遺跡、笹子峠を甲州盆地側に越えた地にある釈迦堂遺跡など、不思議なくらいに一直線に並ぶ遺跡群の人々が、黒曜石やヒスイを持って多摩までやって来たその道を探る新シリーズです。

偶然にも多摩市と姉妹提携をしているハケ岳の富士見町。そこにある有名な井戸戸考古館では、展示コーナーの一番最初に、「富士眉月弧（ふじまゆづきこ）」として、南信州・駒ヶ根やハケ岳～甲州街道や中央高速道に沿うエリア～多摩・武蔵野が同じ縄文文化圏（土器形式や遺跡の形態が類似）であるとして分類した地図が掲示されています。

これは、富士山を中心（=人間の顔に例える



▲ 黒曜石が「ご神体」兼「祠」になっている王滝神社（奥夢科）



と「鼻」にあたる位置）、西はハケ岳山麓から諏訪湖を経て天竜川の南信州・駒ヶ根付近までが左の眉毛、東は大月～上野原、旧藤野町～相模湖・津久井湖～相原～多摩丘陵・武蔵野までが右眉毛というような形でつながっていることを示しているものなのです。

これらの中央部分を「古代甲州道」（諏訪湖の北側の高原地帯から産する石器材料・黒曜石を多摩・武蔵野まで運んだ道=縄文黒曜石コード）が貫通していたはずです。

15年くらい前のこと、津久井湖に近い城山湖の脇にある最高地点「三沢峠」山頂の狭い空間で、縄文土器1点を採取し、城山郷土資料室の山口清先生に届けたことがあります（宮田）。先生からはその場所で採取できたことは大変意味のあること（高所の峠から縄文土器が出ることは古代からの交通路の存在を示すか）とありがたいご教示を頂きました。

この最高地点こそ、相模川に沿って縄文人が尾根筋をよく使いながら所々に小さなキャンプ地小集落を置きつつ、また各集落と交流しつつ「多摩」へと向かった道すじの証を遺していたのでしょうか。

#### ◆ 縄文時代の同じ文化圏を示す

「富士眉月弧」。  
色の濃い部分の左側が駒ヶ根市  
や諏訪湖周辺、中央が甲州盆地や  
富士山、右側が多摩丘陵。  
これらの間では土器の形式も  
共通している。

#### この冬から始まるよこや

まの道の延長ルート探索の  
ねらいは、多摩ニュータウン  
から甲州方面へと続く、この  
壮大なる古代街道を追跡し  
ていくことにあります。

### ●●● 新シリーズ開始 第1弾 ●●●

#### 『古代街道“よこやまの道”延長ルート探索シリーズ①』

#### 相模野眺望の尾根古道と長池伝説の奥州古道

■ 日帰り探索ウォーク

2016年11月12日(土)

【内容】湧水に沿って遊歩道がある八王子市別所地区。源頼朝や義経の父・義朝の御持僧・円淨坊が鎌倉時代に開いた蓮生寺薬師堂から長池伝説(小山田高家の奥方・淨瑠璃姫の伝説)へ続く奥州古道を探索します。

よこやまの道の延長ルートは相模野を一望する丘でL字型に方向を変え、いよいよ境川に沿う様な尾根道となります。

【コース】京王相模原線「京王堀之内駅」改札口前に午前10時集合～長池湧水歩道～源氏伝説の別所「蓮生寺」と中世遺跡～日枝神社～複数のファミレスで自由昼食～旧四谷橋～長池ネイチャーセンター～長池～奥州古道～分水界の尾根古道(相模野展望地)～尾根緑道(旧戦車道路)～京王相模原線「多摩境駅」15時45分頃解散予定 行程約6km



▲ 淨瑠璃姫の碑

### ●●● 新シリーズ開始 第2弾 ●●●

#### 『古代街道“よこやまの道”延長ルート探索シリーズ②』

#### 多摩境の内裏峠から御殿峠古道下・相原まで

■ 日帰り探索ウォーク

2016年12月1日(木)

【内容】かつては戦車道路とも言われた尾根道を西に向かうと、絹の道や鮎街道とも合流。鎌水峠の大塚山から下って来る「絹の道」は昔から鎌倉道とも言われ、境川に沿う鎌倉道とつながっていました。「橋本」の地名の由来となつた旧橋本宿は、

小田原道・川越道(国道16号の旧道)が境川を渡る部分の精進場や両国橋(武蔵国と相模国の境目)から南側に広がる古い集落です。今も直線的な古い町並の風情を遺しています。



▲ 瑞光寺

## みやたたろう 2015年8月～12月の外部講座と旅

- 8月14日(日)～18日(木) 海外4泊5日ツアー『南サハリン(樺太)“銀河鉄道の夜”源郷の地』 主催→クラブツーリズム街道
- 8月21日(日) 日帰りバスツアー『山中湖と忍野の徐福古道を歩く』 主催→多摩らいふ俱楽部
- 8月25日(木) 座学講座『神々の宮処(みやこ)・海の神と陸の神を迎える直線的な神社参道の謎』(会場は下記参照) 主催→クラブツーリズム街道
- 9月2日(金) 日帰りバスツアー『房総・市原の弥生環濠集落遺跡と最古級の古墳』 主催→クラブツーリズム歴史
- 9月14日(水) 日帰り探索ウォーク『仙川の柴田勝家の兜塚と島屋敷の遺跡』 主催→NHK学園/カントリーロードシリーズ
- 9月15日(木) 座学講座『新視点！善光寺の謎～古代政府ロマンと高麗式大古墳群』 主催→朝日カルチャーセンター湘南
- 9月17日(土)・29日(木) \*同じ内容で開催 現地集合・探索ウォーク『神々の宮処①“鎌倉長大なる若宮大路の謎”』 主催→クラブツーリズム街道
- 9月22日(祝木)『上野の史跡と国立科学博物館人類史コーナー見学』 主催→クラブツーリズム歴史
- 9月28日(水) まちだ市民大学HATS公開講座(講演)『奈良の都に続く町田の古代官道 古代東海道・武藏路』 主催→町田市生涯学習センター
- 10月1日(土)・13日(木) \*同じ内容で各開催 探索ウォーク『神々の宮処②“江ノ島の海神参道の謎”』 主催→クラブツーリズム街道
- 10月10日(祝・月)“駒ヶ根高原ワンデーフットバス大会(仮)” 主催→駒ヶ根市まほろばの里 フットバス研究会
- 10月18日(火)～20日(木)2泊3日ツアー『津軽の交易棗“十三棗”&繩文・弥生遺跡の謎』 主催→クラブツーリズム歴史
- 10月25日(火)～27日(木)2泊3日ツアー『善光寺の謎と安曇族の大王古墳』 主催→NHK学園 国立本校
- 10月31日(月) バス日帰り『横須賀のヤマトタケル道と久里浜の古代遺跡』 主催→クラブツーリズム歴史
- 11月17日(木)～18日(金) 1泊2日『神々の宮処③ 新視点！善光寺の謎～古代政府ロマンと渡来系古墳群』 主催→クラブツーリズム街道
- 12月3日(土)・8日(木) \*同じ内容で開催『神々の宮処④ 杉並の奥州古道ロマン～人見街道と大宮神社の長大参道～』 主催→クラブツーリズム街道
- 12月10日(土) 座学講座『歴史ロマン新視点！鎌倉幕府の財宝の謎』 主催→朝日カルチャーセンター湘南

#### お問い合わせ

- ◎クラブツーリズム 街道 ☎03-5323-6681 ◎多摩らいふ俱楽部 ☎042-526-7777
- ◎クラブツーリズム 歴史 ☎03-5323-6940 ◎NHK学園 国立本校(学習の旅) ☎042-572-3151
- ◎朝日カルチャーセンター湘南 ☎0466-24-2255 ◎町田市イベントダイヤル(町田市生涯学習センター) ☎042-724-5656
- ◎駒ヶ根市まほろばの里研究会 ☎0265-82-4800 ※ 8月25日の会場：新宿アイランドビル内クラブツーリズム

# ガイドリーダーと行く史跡探索!

## ミニウォーク高尾あるき(その3)

### —狹間駅から長房の歴史散策—

2016年  
9月3日(土) ガイド▶▶高尾あるきの会(団員)

連絡先 / 伊藤ミチ子 ☎ 090-5403-2217

~前回(4月6日)の続きになりますが、高尾地域の歴史をひとといでみませんか!~

【内容】鎌倉古道「山の道」は長房丘陵を越える道筋が「廿里坂」「太夫坂」「不動坂」の3箇所あったといわれます。今回はそのなごりになりますが狭間駅を出発して戦国時代に創建された古刹「興福寺」から千人同心で「石川日記」の石川家がある旧甲州街道を通ります。南浅川の古道橋を渡り、長房の中郷・落越(おっこし)縄文遺跡を歩き城山手陵東公園で昼食にします。となりのもみじ公園西側、山道に入り尾根までるとそこは旧鎌倉道で、少し歩くと林の中に庚申塔があり、ロケーションが「太夫坂」そのものです。おりて東に歩くと「出羽山公園」です。ここ、地元では大名屋敷と呼び、北条家臣近藤出羽守の屋敷跡です。それから長泉寺に行きます。徳川家康・秀忠に仕えた三河武士で後に出来し、この地に庵を構えた「鈴木正三」の供養塔があります。お伽草子「二人比丘尼」の著者、天草で民衆を救うためにキリスト教をあきらめさせて仏教に帰依させた宗教家でもあります。武蔵陵墓地に向かい門の中から「太夫坂」に繋がる道を探ります。そして廿里町から高尾駅に出てコースを閉じます。

【コース】京王高尾線狭間駅10:00時集合～十二社～興福寺～旧甲州街道～陵東公園(持参の弁当で昼食)～太夫坂～出羽山公園～長泉寺～東照寺～日光神社～武蔵陵墓地～高尾駅 15:00頃解散予定



▲旧甲州街道の石川家

▲馬頭観音-太夫坂

## 府中から武藏國分寺詣で

### —薬師如来像のご開帳日に—

2016年  
10月10日(月・祝) ガイド▶▶須知正度(団員)

連絡先 / 須知 正度 ☎ 090-3695-7580

【内容】奈良時代に創建された武藏國分寺への道は、武藏國府から向かうのが本筋でしょう。武藏國分寺を継承する現国分寺の御本尊、薬師如来像のご開帳日に府中(古代武藏國府)から国分寺参道を辿って国分寺詣でをします。

木造薬師如来坐像(毎年10月10日が開帳法要、一般公開)は国の重要文化財に指定されており、現国分寺の御本尊として新田義貞が寄進したと伝えられている薬師堂に安置されています。平安時代末頃の作とされ、寄木造による半丈六(高さ約1.91メートル)で、寺の縁起によると、鎌倉時代末期の分倍河原の合戦の兵火で武藏國分寺が焼失した際、自ら逃げ出して無事だったと記されています。

また、武藏國分寺史跡公園や資料館では、礎石や発掘資料から当時を偲び、さらに周辺には著名な古道跡、伝鎌倉街道と東山道武蔵路遺構があり、鎌倉～平安～奈良～飛鳥と歴史を遡ることも出来るでしょう!



◀  
薬師如來像  
(國分寺市HPより)

【コース】京王線「府中駅南口」9:30集合～武藏國国衙跡～國分寺参道～府中刑務所角～國分寺南大門跡～國分寺中門跡～史跡公園(武藏國分寺僧寺跡、昼食、自由時間:万葉植物園・史跡資料館見学、真姿の池、薬師堂薬師如来参拝)～黒鐘公園(武藏國分尼寺跡)～伝鎌倉街道～東山道武蔵路跡～JR西国分寺駅 15:00頃解散予定

## 稲城・矢野口の歴史散策

### —多摩川の渡船場跡を訪ねて—

2016年  
10月30日(日) ガイド▶▶進藤重孝(団員)

連絡先 / 進藤 重孝 ☎ 080-1231-8185

【内容】今回は、稲城市の南東部の多摩丘陵に近いところから歩き始め、ほぼ北を流れている多摩川の渡船場跡を訪ねます。

まず、京王よみうりランド駅周辺の神社やお寺、穴澤天神社、妙覚寺・威光寺を訪ね、併せて近辺の丘陵地帯を南北に走っていた古道のルートを探ります。

その後、旧川崎街道や大山道を確認しながら北へ移動し、多摩川の渡船場であった矢野口渡船場跡と押立渡船場跡を訪ね、利用されていた時代に思いを馳せ人々や物資の移動ルートを探ります。



◀  
妙覺寺の板碑  
(稲城市HPより)

◀  
威光寺の庚申塔  
(稲城市HPより)

【コース】京王相模原線京王よみうりランド駅集合10:00～妙覚寺～弁天洞窟・威光寺～穴澤天神社～円覚寺～旧川崎街道・大山道～JR南武線矢野口駅周辺(自由昼食予定)～矢野口渡船場跡～多摩川緑地公園～押立渡船場跡～島守神社～JR南武線稻城長沼駅 15:30頃解散予定

## 畠山次郎重忠 終焉の地と鎌倉古道(中の道)を訪ねる

### —歴散加藤塾・塾長による二俣川散策—

2016年  
11月6日(日) ガイド▶▶加藤塾長(団員)

連絡先 / 加藤 正昭 ☎ 090-8010-9848

【内容】さて「重忠の乱」といわれますが、畠山重忠は滅ぼされています。

文武両道に長け・清廉潔白の畠山次郎重忠が、謀反の罪を着せられて二俣川に散った話は有名です。その伝説が残る地と、その鶴ヶ峰合戦場への鎌倉古道「中の道」の一部を歩いてみましょう。

多勢の鎌倉軍を前にして、「家を忘れ親を忘れるは、将军の本意なり」との重忠の潔さを、加藤塾長の話術で楽しんでください。



◀  
矢先稻荷神社天井画  
(台東区松ヶ丘から重忠、巴御前の  
鎌袖を引きちぎる)

【コース】相鉄線「二俣川駅」改札口前 11:00集合～万騎が原重忠地蔵～横浜市こども自然公園(通称:大池公園・昼食)～鎌倉古道「中の道」(桐が作下～左近山団地～本宿小学校脇～三和鶴ヶ峰店前)～重忠首洗い井戸跡地・鎧渡し跡地～重忠首塚～重忠顕彰碑～六つ塚～籠塚～相鉄線 鶴ヶ峰駅 15:30頃解散予定

## ※ 各コースとも

参加費 団員 500円 (団員家族は2人で 700円) 一般は一名700円 (資料代&保険料共)  
事前申し込み不要。当日現地にて受付。雨天時は中止。(小雨決行。当日朝7:30までに各連絡先にお問い合わせ下さい。)  
昼食(弁当)・飲料・敷物・雨具等ウォーキンググッズは各自ご持参下さい。  
実施要領は、チラシまたはホームページにてご確認ください。

## 大栗川を歩く (その8)

— 大栗川の一つの支流 大田川の源流を訪ねる —

2016年  
11月19日(土) ガイド⇒大栗川俱楽部(団員)

連絡先 / 齋地 カズエ ☎ 090-6184-9060

【内容】“大栗川を歩く”シリーズは、2014年6月14日から始まり2年の月日が流れました。下流域から遡って来た川旅も鎧水の源流を訪ねて終わりを告げました。番外編として、前回の「絹の道」と、今回の最終章「大田川の源流」で一応完結です。

京王線堀之内駅を出発し、大田川源流の「浜見場」を見て、南大沢駅までの約5kmの行程。開発された地域の中、遊歩道を歩きながらも古道を辿る、ゆるやかな散歩道です。消えた谷戸、生き残った谷戸、削られた山、活用されている丘、残された道、痕跡すら判らぬ古い道、こもごもの現実の中での人々の暮らし。どれも今の姿です。車道は余り歩かず、歩道を歩き落ち葉を踏む音をお楽しみ頂けたらと思っています。(記:狩野亮子)

【コース】京王相模原線堀之内駅前 10:00集合～大栗川公園(合流地点)～南大沢八幡神社～小山内裏公園・大田切池・パークセンター(昼食)～鮎の道～浜見場(源流)～戦車道～大平公園～清水入緑地～京王相模原線南大沢駅 15:30解散予定 ※雨天の場合は翌20日(日)



▲ 清水入緑地



▲ 大栗川流域図

## 鈴木遺跡(小平市)を訪ね、 野川・国分寺崖線を歩く

2016年  
11月27日(日) ガイド⇒須知正度(団員)

連絡先 / 須知 正度 ☎ 090-3695-7580

【内容】鈴木遺跡(小平市)は、現在、石神井川と呼ばれている中小河川の太古の源流部を取り巻くように形成された後期旧石器時代から縄文時代の遺跡です。発掘調査結果より、約3万年前から堆積し始めた時代の火山灰層(文化層)の中から石器が発見され、「現生人」によって営まれた遺跡であることが判っています。鈴木遺跡資料館では、文化層とそこから発見された石器を太古の時代を実感しながら見ることが出来ます。

小平は武蔵野台地にあり、平坦と思われるでしょう?ところが、自然河川が開拓した源流地帯を歩いてみると、中小河川とは言え意外な高低差のあることが判ります。かつての石神井川源流地帯や仙川源流地帯を歩くと、それを実感できると思います。終わり頃には、国分寺崖線・野川流域を歩き、古多摩川が形成した平均標高差10から15メートルを実感します。

併せて、旧石器時代から縄文時代の頃の人々の移動ルートを想像してみましょう。



▲ 鈴木遺跡資料館  
(小平市HPより)

【コース】JR中央線国分寺駅改札前 9:30集合～(立川バスで移動)～共済住宅バス停～(徒歩)～鈴木遺跡資料館～石神井川(太古)源流部～玉川上水・小金井用水～仙川源流部～国分寺崖線・野川流域～JR武蔵小金井駅又は国分寺駅方面へ 15:00頃解散予定

## 好評! 月例ウォーキング

## 多摩よこやまの道を歩こう

## 新日本歩く道紀行「歴史の道」100選のひとつ

■ 9月11日(日) ■ 10月16日(日)  
■ 11月15日(火) ■ 12月11日(日)

毎月定期的なガイドウォーキングとして実施しています。「よこやまの道」は多くの古道と重なり交叉し、それらの痕跡や伝説も多く、古道や歴史に関心のある方々に愛好されています。また、里山の自然が残っており、四季の移り変わりを楽しめます。野鳥や植物観察もし

ながら、この豊かな道を歩き・感じ・味わってみませんか?

右記の東・西のコースを、毎回、季節やテーマに合う所を

訪ね、行程を変えて歩きます。

(詳細は、チラシとホームページで告知。)



東コース  
9月11日(日) 京王相模原線若葉台駅 9:00集合  
天王の森～尾根古道～旧多摩聖蹟記念館～  
聖蹟桜ヶ丘駅方面へ  
11月15日(火) 京王相模原線若葉台駅 9:30集合  
丘の上広場～防人見返りの峠～並列古道跡  
(古代東海道跡)～古道五叉路～京王多摩車庫方面へ

西コース  
10月16日(日) 小田急多摩線唐木田駅 9:30集合  
大妻女子大～奥州古道(常磐ルート)～正山寺～鶴見川  
源流～長池公園～淨瑠璃緑地～蓮生寺～京王堀之内駅  
12月11日(日) 小田急多摩線唐木田駅 9:30集合  
大妻女子大～奥州古道(常磐ルート)～山王塚～尾根緑道  
～小山内裏公園～田端環状積石遺構～多摩境駅へ

### ■ ガイド: 須知 正度 (団員)

(連絡先 ☎ 090-3695-7580)

※ 参加費は、最終ページの予定表をご参照ください



団員には、団主催行事参加費を割引し、歴史口マン古道ニュース(団報)をお送りします。  
年会費は3,000円(4月より翌年3月まで)。10月以降入団は1,500円)

【お申し込み方法】ゆうちょ銀行備付け振替払込取扱票に、「入団」と明記し、ご住所・ご氏名・  
ご連絡先・電話番号をご記入の上、年会費を下記へご送金下さい。

【振込先】ゆうちょ銀行振替口座: 00140-7-445195 【加入者名】: 歴史古街道団  
ウォーキング参加時などに、団役員へお申し出いただいても、手続きをいたしますのでお気軽にどうぞ。

## 発掘調査で分かった東山道武蔵路の様相

講師：増井 有真（ますい あるま）  
(国分寺市教育委員会 教育部 ふるさと文化財課 史跡係)

日 時：2016年8月2日（火）14:00開演（開場：13:30）

会 場：多摩市関戸公民館（VITA）8階 大会議室

〒206-0011 多摩市関戸4-72 ☎042-374-9711  
京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」西口徒歩2分

参加費：700円（資料代共） 定員：先着90名（事前申込不要）

東京都国分寺市内では、これまでに約70カ所の調査区で古代官道である東山道武蔵路の遺構が確認されています。台地上では、幅約12mの直線道路が340mに渡って発見され、国分寺崖線や武蔵野段丘面を開拓する谷や湧水源付近の調査区では、起伏にとんだ地形や湿地帯を克服するための土木工事の痕跡も確認されています。

また、武蔵国分寺付近では、寺院の造営と一体となった道路の整備が図られ、東山道武蔵路が官道としての役割を終える宝龜2年以降も平安時代の終わりまで南北の交通機能を有していたことが判明。最近の調査成果も踏まえ、国分寺市内の東山道武蔵路について紹介します。

### 増井先生との交流を兼ねてミニ講演

#### — 多摩丘陵を越える古代東海道の推定路について —

講師：宮田 太郎（歴史古街道団 団長）

関東最大級の古代国道「東山道武蔵路」は、はたして多摩丘陵へと続いているのでしょうか。打越山の古代街道発掘の状況と、野津田公園に遺る痕跡との関連を考えます。

日帰りバスツアー

かみつけの

## 晩秋の上毛野（群馬県）を訪ねる

2016年10月19日（水）

■集 合 / JR横浜線 橋本駅 改札口前 8:00頃

■解 散 / JR横浜線 橋本駅付近 18:30頃 ■定 員 / 28名

■行程・参加費等 / 検討中 ■申込受付開始 / 8月中予定

■問合せ / 岡田 渉（080-3594-7002）

【内容】古代は上毛野国と呼ばれた群馬県、赤城山や榛名山など、雄大で広い裾野をもつ円錐火山に囲まれた水豊かな肥沃な大地でした。早くから農業生産や馬牧が盛んで、古墳時代から大勢力地で大型古墳も築造されてきました。2011年には古墳時代の甲冑を着た男子の遺体が発見されたことは記憶に新しい出来事でした。往時の榛名山の噴火と火碎流によるものですが、渋川市では古墳時代のムラそのものを始めとして、火山灰でパックされた、日本のポンペイとも呼ばれる広大な遺跡群が発見されています。こうした古墳時代の遺跡・遺構や発掘物を展示する博物館等が多い地域です。

目を群馬県の北に転じると、NHK大河ドラマ「真田丸」ゆかりの沼田や名胡桃城城があります。同じく、南には、ほぼ東西に古代東山道が走っており、家康の没後東照宮に幣帛を奉納するための勅使が通った道という例弊使街道もあります。

見所沢山の上毛野、群馬県！

現在、バスツアー委員が訪問先や  
行程等を、鋭意、検討中です。



▲ 観音山古墳



▲ 名胡桃城

### 吾妻鏡勉強会 吾妻鏡に描かれた鎌倉時代の出来事について勉強し楽しむ会

《吾妻鏡勉強会まとめ役 藤田一彦 ▶ 連絡先 / 080-5184-9840》

日 時：第8回 ▶ 2016年8月12日（金）14:00～16:00

テーマ／義経と静御前 レポーター／須知 正度

第9回 ▶ 2016年9月16日（金）14:00～16:00

テーマ／比企の乱 レポーター／加藤 昭正

場 所：関戸公民館 第3学習室（定員40名）} 両日とも  
参加費：300円（資料代）

今後の 曽我兄弟仇討ち・承久の乱・和田合戦・宝治合戦・  
テーマ（案） 実朝暗殺・貞永式目など

10月以降も第二又は三週に実施予定。日時・会場は、HPで告知。

【趣旨】 鎌倉幕府と呼ばれる武家政権の出来事は、幕府の正式記録として「吾妻鏡」に記録されているといわれています。記されている内容は、必ずしも真実ばかりではなく、たとえば北条氏の都合によってゆがめられているとも言われています。しかし、鎌倉時代を知る上で「吾妻鏡」は第一級の資料でもあります。

この吾妻鏡を読み鎌倉時代の諸事件がどう描かれているか、その背景・意味・疑問などを自由に討議、勉強する会を行っています。

吾妻鏡を最初から読むというやり方ではなく、事件・事柄ごとにいくつかのテーマをとりあげ吾妻鏡にどう書かれているか、原文・現代語訳を読みそのほかの資料なども参照し、皆で考え方像、討議しています。

興味のある方は、どなたでも歓迎します。ご参加ください。

### 古代史勉強会 地域を良く知るために多摩の歴史を中心勉強し楽しむ会

《古代史勉強会まとめ役 須知 正度 ▶ 連絡先 / 090-3695-7580》

日 時：2016年8月19日（金）14:00～16:00

テーマ／関東の弥生時代 レポーター／須知 正度

場 所：関戸公民館 第2学習室（定員48名）

参加費：300円（資料代）

古代史勉強会は、第五回で休会。12月または来年1月から再開します。  
なお、11月27日（日）小平鈴木遺跡資料館を訪問し、国分寺崖線を歩きます。

【趣旨】 「歴史を改めて見直す」とどのようなものが見えてくるか…？ということで、とりあえず旧石器時代から縄文・弥生時代に関して、多摩地域で発掘された遺跡報告書等を次のとおり、勉強しました。

第一回 1月20日（水）旧石器時代－小平鈴木遺跡他

第二回 2月19日（金）縄文時代①－多摩ニュータウンNo.72遺跡

第三回 3月18日（金）縄文時代②－多摩ニュータウンNo.72遺跡、AMS法

第四回 7月15日（金）縄文から弥生へ、弥生の始まりが早くなつたのか？

興味のある方は、どなたでも歓迎します。ご参加ください。

## 2016年度定期総会開催

2016年5月29日（日）午後2時より関戸公民館8階大会議室において、第12回定期総会が開催されました。団員総数144名のうち、出席者46名、委任状提出者61名、合計107名参加（定足数29名）のもと、宮田団長を議長に選出し、議案はすべて承認されました。

### 2016年度活動方針

『活動の基本目標』 創立12年目の今年、年々増加してきている参加者の皆さんや賛同される方々の交流の場を創出し（小グループ活動や交流学習会、新たなる「道」CAFE会」開催など）、歴史ロマンを通じて交流する楽しい場を増やしていきます。また、地域貢献などを念頭に、多摩丘陵の恵まれた歴史環境や日本の東西往還道が集中する利点を活かし、ここが洗練されたモデルエリアであることを念頭に、本物の古街道が見られる（実感できる）素晴らしい地域であることを再確認できるような機会をさらに増やしたいと考えます。

- 1.『徳川家康の御成道（御尊檀の日光移送のための千人行列の道）』をテーマとした探索ウォーカーを継続実施し、保存活動とPR活動を積極的に行う。（多摩市一本杉公園内の古道跡、町田市小野路地区の竹林内の古道跡の保存）
- 2.『多摩よこやまの道』がある尾根や古道は、どこまでつながるか（甲州盆地や富士五湖に至る）を分担して実地踏査し、研究発表の場を通じて他地域とも交流し、その歴史的価値や魅力を学ぶ（2年計画）。
- 3.『東山道武蔵路』と多摩丘陵を越える『古代東海道』が繋がることを解明するための活動を開始する。特に国分寺市や府中市地域の研究者との交流を図り、講演会や実地探索ウォーカーを実施する（永続計画）。
- 4.どんなところにも存在する古道や小径を活かし、地域と訪問者が関わり合うことから始まる地域振興「歴史フットパス」を全国に先駆けて提唱してきた団体として、今後も「多摩よこやまの道」や「多摩古街道群」を核として各地に広がる道つながりを調査研究し、また、交流活動を継続し、近隣圏のフットパス実施団体地域の訪問や、外部地域探索ツアーを計画していきます。
- 5.研究誌の第一号発行を目指し、アカデミックな古道研究交流に努めます。

### ■ 2016年度運営委員 ▶ 団長／宮田 太郎 副団長／麻生 直昭 事務局長／須知 正度 会計監査／斎地 カズエ

運営委員／伊藤 ミチ子 富田 昭夫

遠藤 邦江 中村 敬子

岡田 渉 真壁 寿美子

狩野 亮子 八木原 純子

須永 洋子 山崎 ひろ子

田口 俊弥 横山 良治

高野 みどり 三好 孝典（新任）

## 都電 荒川線の旅

藤田 一彦（団員）

先日 昔の仲間と都電に乗って沿線をめぐった。東京に唯一残った路面電車、都電荒川線である。かつては東京中を網の目のように走っていた電車も、車の増加で渋滞の原因視され、昭和42年から廃止が始まり47年までに35路線・181Kmが廃止された。今の荒川線は専用軌道部分が多くたため廃止をまぬがれ、庶民の足として早稲田から三ノ輪橋まで12Kmを走り続けている。



我々は「早稲田」から出発したのだが、そこまでは山手線高田馬場駅から神田川沿いの裏道を歩く。途中水稻荷、甘泉園など水に由緒を持つところがあり、松尾芭蕉が、若い頃神田上水整備の仕事で住んだことがあるという場所に立つ芭蕉庵が緑濃い崖下にあったりする。

最初の途中下車「鬼子母神前」 400円の一日乗車券を買えば何度でも荒川線乗降自由なので、1回の乗車料が170円だから、3回以上乗り降りするのなら、断然お得な乗車券である。櫻の大木が並ぶ参道を抜けると有名な雑司が谷の鬼子母神、今の建物でも三百年以上の歴史をもつ江戸名所のひとつ。境内には樹齢四百年以上という子育て公孫樹の巨木も立つ。

お昼は「庚申塚」 おばあちゃんの原宿として有名な地蔵通り商店街。この道は昔の中山道で日本橋から板橋宿の中間で、立場（たてば、継立場、継場とも言う）があり、当時の姿は江戸名所図会にも描かれている。とげぬき地蔵のある高岩寺よりも、この地では歴史が古い真性寺には江戸六地蔵の一つが鎮座している。我々が行った日が丁度 四の日で地蔵の縁日、通りは車の通行禁止、道の真ん中にも露店が並び、歩くのも苦労するほどの人出であった。

次の停留所「新庚申塚」でまた降りる。ここでは四谷怪談のお岩さんのお墓にお参り。お墓は妙行寺というお寺にあるのだが、もとは四谷にあったものが、明治になってお墓ともども巣鴨に移ってきた。お寺の前の通りの名は、「お岩通り」というが、お岩さんはさすがビッグネームと感心した。またこのお寺には浅野内匠頭の奥方のお墓もある。

「飛鳥山」「王子駅前」 荒川線の丁度真ん中くらい、江戸時代以来の桜の名所の飛鳥山。鎌倉時代以来の名族豊島氏が熊野から勧請した王子神社と広重の名所江戸百景で有名な王子の狐ゆかりの王子稻荷神社。毎年大晦日の夜に関東中の狐が集まってきたという装束榎があった場所も今はビルの間にひっそりとあった。

あちこちまわってくびれたので、終点「三ノ輪橋」まで直行。駅のすぐ近くには、新吉原遊女の投げ込み寺の淨閑寺。王子駅前を流れていた音無川はこの寺のそばから吉原大門前の日本堤に沿って隅田川へ合流している。江戸五色不動の一つ目黄不動を祀る永久寺もすぐそば。

せっかくここまで来たのでもう少し歩いて小塚原刑場跡へ行った。東海道の鈴が森とならんで有名な江戸の刑場。日光街道が浅草を過ぎて千住宿までの間のまったく人家の無いさびしい場所だったという。鼠小僧次郎吉、安政の大獄の犠牲者、桜田門外の変の関係者から二・二六事件 磯部浅一夫妻の墓まで並んでいる。肅然・黙祷。

近くの常磐線南千住駅から帰途に就いたのであった。

## 雑感 - 和暦とくらし

須知 正度（団員）

日本人の生活が「お月さま」（和暦、旧暦、太陰太陽暦）から離れて、100年以上経ちました。公式には、天保暦（和暦、旧暦）から太陽暦（新暦、現カレンダー）に変更された1872（明治5）年から離れ始めました。

本来、和暦に従ってきた節句も今のカレンダーに従って行われています。ひな祭り、端午の節句、七夕など、その時期になると新聞やテレビ報道で取り上げられ、我々も「つい」その気になってしまいます。

言うまでもありませんが、これらは「年に一度」の行事で、七夕は彦星と織姫の伝承から「年に一度の逢瀬」が特に強調されるようです。

当たり前のことですが、月に従えば、三日、五日、七日、…は毎月、年12回巡って来ます。節句行事を楽しむにあたって、年12回とは言いませんが、年に一度を「年に二度、つまり2回」楽しんでみるのは、如何でしょうか？ すなわち、生活で利用している今のカレンダーに従って1回目、さらに和暦で2回目という具合です。今のカレンダーに従うのは習慣として定着していますから自然体でしょう。和暦に従うのは、少し工夫を要します。今のカレンダーに比べて、ほぼ1ヶ月遅れの旧暦を知らなければならないからです。この少し面倒なことを克服すれば、良い点もあります。和暦に従うということは、「月の満ち欠け」が加わって、節句行事を楽しむ上での「口マシンに花を副える」良い方法だと思います。併せて、節句

行事の由来等が解れば、一層有意義でしょう。

七夕の場合には、今年の1回目は過ぎましたが2回目を和暦に従って楽しむことが出来ます。これからやって来る旧暦七月七日は、今年は8月9日（火）が該当します。その日の夕方、晴れていれば南の空に半月（上弦の月）に近い月が見られるでしょう。空は海、雲を波、月を舟、星を林や川と思って下さい。

万葉歌には、次のように詠われています。

天の海に雲の波立ち 月の船 星の林にこぎ隠れ見ゆ  
柿本人麻呂歌集（巻7-1068）

秋風の清きゆふべに 天の川 舟こぎ渡る 月人壯士  
作者不詳（巻10-2043）

後の歌の月人壯士（つきひとおとこ）は、牽牛・彦星の譬如で、表現は日本の妻問婚を詠っています。また、中国故事に従って次のようにも詠われています。

織女じ 船乗りすらし まゝ鏡

きよき月夜に雲立ち渡る  
大伴家持（巻17-3900）

空気が比較的澄んでいる時期ですが、星空、天の川は「強制的なライトダウン」でもしない限り、残念ながら都市部では望めないと思います。当日、天の川が見られる所に馳せて行きましょうか…？！



# 歴史古街道団 予定表 (2016年8月～2016年12月)

※注 (団)=歴史古街道団 【宮田】=宮田太郎ウォーカー 【学】=講演会・学習会 【ガイド】=ガイドリーダーウォーカー

月日	集合場所・時間	探索・学習テーマ	参加費	申込み	問合せ先
8月2日(火)	関戸公民館大会議室 14:00～17:00 京王線聖蹟桜ヶ丘駅西口徒歩3分	【学】東山道講演会 テーマ:発掘調査で分かった東山道武藏路の様相 講師:増井 有真氏	700円	当日	(団)宮田 Tel.090-7002-3431
8月12日(金)	関戸公民館第3学習室 14:00～16:00 京王線聖蹟桜ヶ丘駅西口徒歩3分	【学】吾妻鏡勉強会⑧～輪番レポーター制、参加歓迎 テーマ:義経と静御前、レポーター;須知 正度	300円	当日	(団)藤田 Tel.080-5184-9840
8月19日(金)	関戸公民館第2学習室 14:00～16:00 京王線聖蹟桜ヶ丘駅西口徒歩3分	【学】古代史勉強会⑤～輪番レポーター制、参加歓迎 テーマ:関東の弥生時代 レポーター:須知 正度	300円	当日	(団)須知 Tel.090-3695-7580
9月3日(土)	京王高尾線「狭間駅」 改札口前10:00	【ミニガイド;高尾あるきの会】高尾あるき③ 長房丘陵の鎌倉古道(山の道)太夫坂ルートを歩こう!	団員:300円 一般:500円	当日	(団)伊藤 Tel.090-5403-2217
9月11日(日)	京王相模原線「若葉台駅」 改札口前09:00	【半日ガイド;須知】月例 多摩よこやまの道を歩こう! 東コース 秋の七草や狐の剃刀を探して歩こう!	団員:300円 一般:500円	当日	(団)須知 Tel.090-3695-7580
9月16日(金)	関戸公民館第3学習室 14:00～16:00 京王線聖蹟桜ヶ丘駅西口徒歩3分	【学】吾妻鏡勉強会⑨～輪番レポーター制、参加歓迎 テーマ:比企の乱、レポーター;加藤 正昭	300円	当日	(団)藤田 Tel.080-5184-9840
9月25日(日)	JR横浜線「古淵駅」 改札口前10:00	【宮田】徳川家康の御成道⑤ ～境川を渡る古道と麻溝台の一里塚～	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 Tel.090-7002-3431
10月4日(火)	JR相模線「下溝駅」 改札口前10:00	【宮田】徳川家康の御成道⑥ ～絶景の相模川“八景の棚”と新戸の一里塚～	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 Tel.090-7002-3431
10月10日(月)	京王線「府中駅」 南口改札前9:30	【ガイド;須知】薬師如来像のご開帳日に 『府中から武藏國分寺詣で』	団員:500円 一般:700円	当日	(団)須知 Tel.090-3695-7580
10月16日(日)	小田急多摩線「唐木田駅」 改札口前09:30	【ガイド;須知】月例 多摩よこやまの道を歩こう! 西コース 奥州古道から鶴見川源流へ!	団員:300円 一般:500円	当日	(団)須知 Tel.090-3695-7580
10月19日(水)	問合せ	【旅行】日帰りバスツアー コース・訪問先検討中! ～晩秋の上毛野(かみつけの、群馬県)を訪ねる～	参加費検討中 定員28名先着順	要申込	(団)岡田 Tel.080-3594-7002
10月30日(日)	京王相模原線「京王よみうりランド駅」 改札口前10:00	【ガイド;進藤】稻城矢野口歴史散策 ～南の丘陵から北の多摩川渡し場址へ～	団員:500円 一般:700円	当日	(団)進藤 Tel.080-1231-8185
11月6日(日)	相鉄線「二俣川駅」 改札前11:00	【ガイド;加藤正昭】歴散加藤塾・塾長による ～畠山次郎重忠終焉の地と鎌倉古道を訪ねる～	団員:500円 一般:700円	当日	(団)加藤正昭 Tel.090-8010-9848
11月12日(土)	京王相模原線「京王堀之内駅」 改札口前10:00	【宮田】新シリーズ① 『古代街道“よこやまの道”延長ルート探索シリーズ』 ～相模野眺望の尾根古道と長池伝説の奥州古道～	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 Tel.090-7002-3431
11月15日(火)	京王相模原線「若葉台駅」 改札口前09:30	【ガイド;団員有志】月例 多摩よこやまの道を歩こう! 東コース 東から西へ木々の色付きを楽しもう!	団員:300円 一般:500円	当日	(団)須知 Tel.090-3695-7580
11月19日(土) 雨天順延	京王相模原線「京王堀之内駅」 改札口前10:00	【ガイド;大栗川俱楽部】大栗川を歩く-その8 ～大田川(大栗川支流)の源流へ～	団員:500円 一般:700円	当日	(団)齋地 Tel.090-6184-9060
11月27日(日)	JR中央線「国分寺駅」 改札口前9:30	【ガイド;須知】旧石器・縄文の太古の道は? 『小平鈴木遺跡を訪ね、国分寺崖線へ』	団員:500円 一般:700円	当日	(団)須知 Tel.090-3695-7580
12月1日(木)	京王相模原線「多摩境駅」 改札口前10:00	【宮田】新シリーズ② 『古代街道“よこやまの道”延長ルート探索シリーズ』 ～多摩境の内裏跡から御殿峠古道下・相原まで～	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 Tel.090-7002-3431
12月11日(日)	小田急多摩線「唐木田駅」 改札口前09:30	【ガイド;団員有志】月例 多摩よこやまの道を歩こう! 西コース 尾根緑道から田端環状積石遺構へ!	団員:300円 一般:500円	当日	(団)須知 Tel.090-3695-7580

## ◆編集後記◆

暑中お見舞い申し上げます。間際になりましたが、8月から12月までの予定をお届けいたします。

宮田団長の家康御成道シリーズがこの秋には終了し、新たに“よこやまの道”延長ルート探索シリーズが始まります。そのほか、団員のガイドウォーカーや日帰りバスツアー及び学習会、講演会開催など楽しい集いになると思います。奮ってご参加ください。

編集責任:歴史古街道団(須知)

## 【発行】歴史古街道団

歴史古街道団 団長 宮田 太郎

本部: 東京都多摩市桜ヶ丘

TEL. 090-7002-3431

ホームページ <http://rekodan.a.la9.jp/>